

謹んで初春のお慶びを申し上げます

2019年元旦

世界は一つ」という言葉は美しく響きますが、グローバル化の波は植物の世界にも押し寄せていて、街を歩いていても見かけるのは、グローバル化に対応できた帰化植物ばかり。そんな中で、岐阜市近郊で見られる、古くからあるのに見る機会の少なくなった植物をいくつか紹介します。全部見たことがあるという人は、植物マニアって自慢できるかも。



ハグロソウ（齒黒草） 花弁が1cmくらいのとても小さな花です。花弁がお齒黒に似ているというのですが。



ハエドクソウ（蠅毒草）花穂は10cmくらいはあるのですが、個々の花はとても小さいです。有毒植物でこれから蠅取紙を作ったとか。



シライトソウ（白糸草）。フラシのように見えますが、6個の花弁が集まって一つの花になります。



ウマノスズクサ（馬の鈴草）ラッパ型の花を咲かせますが、食虫植物ではありません。花粉をしっかりと虫に運ばせる巧妙な仕組みです。